



JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

決算説明会

— 2011年度実績 及び 2012年度見通し —

2012年5月24日

株式会社JSP

本日の出席者

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

取締役社長 塚本 耕三

第一事業本部長

寺西 耕一

第二事業本部長

臼井 宏

経理財務本部長

山本 均

総務人事本部長

斉藤 吉成

経営企画本部長

近藤 正

目次

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2011年度 事業概況・・・・・・・・ P4～P7
2. 2012年度 見通し・・・・・・・・ P8～P11
3. 2011年度 決算説明・・・・・・・・ P12～20

2011年度 事業概況

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2010年度 実績	2011年度 実績	前年 同期比
売上高	91,971	93,397	102%
営業利益	7,552	5,296	70%
経常利益	7,874	5,536	70%
当期純利益	4,881	3,100	64%

- 東日本大震災による国内需要消費の低迷、生産設備の被災、電力制限
- 南欧諸国の金融危機、円の独歩高
- 中東・北アフリカ諸国の情勢不安による原燃料価格の上昇
- グループ会社間の協力により生産体制の確保
- 独自技術に基づいた高付加価値製品の販売、海外での拡販の推進により収益確保

押出事業

2011年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2010年度 実績	2011年度 実績	前年 同期比
売上高	35,429	34,585	98%
営業利益	3,090	2,557	83%

「スチレンペーパー」「ミラフォーム」「ミラマット」数量減。

- 食品トレー、丼容器の「スチレンペーパー」震災の影響を受け売上伸び悩み。
- 広告用・折材の「ミラボード」前年同期並みの売上確保。
- 産業用包装材「ミラマット」「Pボード」震災・円高の影響により売上減少。
- 住宅用断熱材「ミラフォーム」前年からの住宅エコポイントや仮設住宅向けの需要増により、前年並みの売上。

ビーズ事業 2011年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2010年度 実績	2011年度 実績	前年 同期比
売上高	50,219	52,869	105%
営業利益	4,556	3,212	71%

国内の販売不振を海外がカバー。震災の影響による需要減少。

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(EPP)
国内:震災、電力制限、タイ洪水、円高による需要減少。
自動車部品の需要は、年明け以降急回復。
海外:新規部位の採用拡大により、売上増加。
- ユニットバス天井材の「スーパーブロー」断熱基準強化により売上増加。
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロディア」(EPS)
震災で漁港が被害を受け需要回復せず。

その他

2011年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2010年度 実績	2011年度 実績	前年 同期比
売上高	6,322	5,942	94%
営業利益	7	△214	—

震災の影響、円高により需要低迷。

- 一般包材

震災の影響、急速な円高による輸出関連企業からの需要伸び悩み。

2012年度 見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 見通し	前年 同期比
売上高	93,397	97,000	104%
営業利益	5,296	6,000	113%
経常利益	5,536	6,100	110%
当期純利益	3,100	4,000	129%

増収増益

- 国内
 - ・自動車生産の本格的な回復。
- 海外
 - ・新興諸国の緩やかながらも経済成長による自動車資材・物流緩衝材の需要増。

押出事業

2012年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 見通し	前年 同期比
売上高	34,585	35,000	101%
営業利益	2,557	1,900	74%

「ミラマット」堅調、「ミラフォーム」他素材との競争激化による収益低下。

- 食品トレー、丼容器の「スチレンペーパー」数量は震災前に回復。
- 広告用・折材の「ミラボード」前年同期並みの数量。
- 産業用包装材「ミラマット」「Pボード」国内生産回復により、堅調に推移。
- 住宅用断熱材「ミラフォーム」他素材との競争激化による収益低下。

ビーズ事業 2012年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 見通し	前年 同期比
売上高	52,869	56,000	106%
営業利益	3,212	4,500	140%

EPS事業の緩やかな業績回復、EPP事業は堅調に推移する。

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(EPP)
国内:自動車生産の本格的な回復により、数量増加。
海外:新興諸国の緩やかながらも経済成長による自動車資材、物流緩衝材の需要増。
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロディア」(EPS)
震災の影響を受けた前期に比べ、緩やかに業績回復。
- ユニットバス天井材は前年並みの売上を予想。

その他

2012年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 見通し	前年 同期比
売上高	5,942	6,000	101%
営業利益	△214	70	—

震災の影響から収益回復を見込む。

- 一般包材
震災の影響を受けた前期に比べ収益回復を見込む。

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結経営成績

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2011年度	93,397 (1.6%)	5,296 (Δ29.9%)	5,536 (Δ29.7%)	3,100 (Δ36.5%)
2010年度	91,971 (12.7%)	7,552 (32.8%)	7,874 (42.1%)	4,881 (52.1%)

包括利益 : 2011年度 1,924百万円(Δ29.0%) 2010年度 2,709百万円(Δ38.1%)

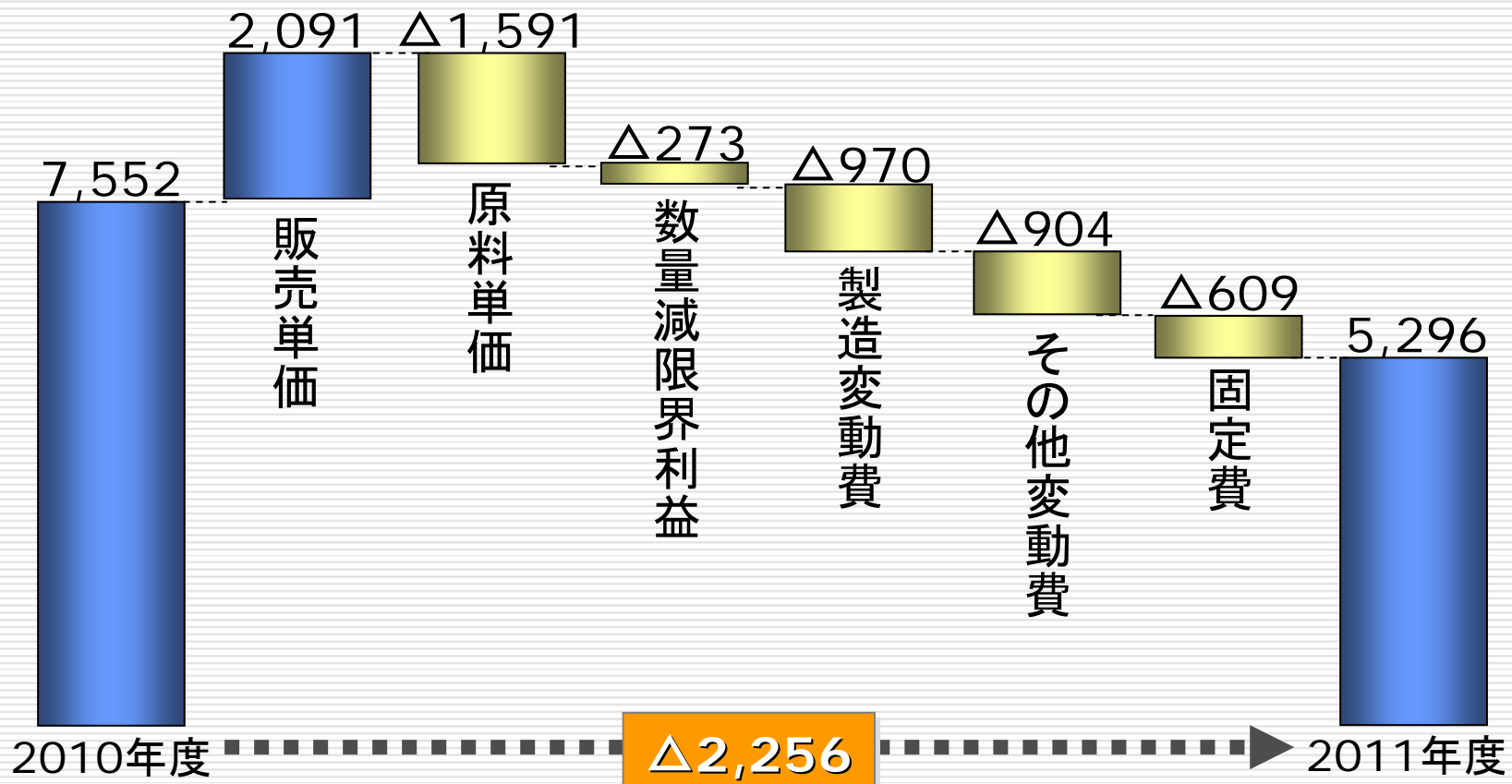
	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2011年度	103円98銭	7.0%	6.2%	5.7%
2010年度	161円25銭	11.2%	9.0%	8.2%

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

営業利益の増減要因



2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

営業外損益 (単位:百万円)

科 目	2011年度
受取利息	245
その他	488
営業外収益合計	733
支払利息	240
その他	254
営業外費用合計	494

特別損益 (単位:百万円)

科 目	2011年度
負ののれん発生益	221
災害損失引当金戻入額	84
その他	18
特別利益合計	323
減損損失	169
事業整理損失引当金繰入額	166
災害による損失	223
その他	124
特別損失合計	682

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結財政状態

(単位:百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2011年度末	89,072	47,362	50.2%	1,499円89銭
2010年度末	89,152	46,481	49.2%	1,470円44銭

(参考)自己資本 2011年度末44,721百万円 2010年度末43,843百万円

● 自己資本比率 +1.0ポイント

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結貸借対照表

(単位:百万円)

分類	科目	2010年度末	2011年度末	増減額
資産の部	流動資産	51,091	50,073	△1,018
	固定資産	38,060	38,999	939
	資産合計	89,152	89,072	△80
負債の部	流動負債	31,908	30,068	△1,840
	固定負債	10,761	11,641	880
純資産の部	株主資本	50,638	52,843	2,205
	その他包括利益累計	△6,794	△8,122	△1,328
	少数株主持分	2,638	2,641	3
	負債資本合計	89,152	89,072	△80

● 有利子負債 △11.1% (2011年度末20,542 2010年度末23,115)

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

純資産の部

(単位:百万円)

科 目	2010年度末	2011年度末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	28,475	30,681	2,206
自己株式	△1,371	△1,371	0
株主資本合計	50,638	52,843	2,205
その他有価証券評価差額金	11	148	137
為替換算調整勘定	△6,805	△8,270	△1,476
その他包括利益累計	△6,794	△8,122	△1,328
少数株主持分	2,638	2,641	3
純資産合計	46,481	47,362	880

● 為替換算調整勘定 円高により△1,476百万円

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2011年度	5,532	△6,138	△3,602	5,976
2010年度	7,840	△5,197	△475	10,487

連結設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2011年度	6,006	4,607	1,853
2010年度	3,368	4,582	1,737

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

2011年度 決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

配当の状況

	1株当たり年間配当金			配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第2四半期末	期末	合計		
2010年度	15円	15円	30円	18.6%	2.1%
2011年度	15円	15円	30円	28.9%	2.0%
2012年度 (予定)	15円	15円	30円	22.4%	

2012年度見通し

単位:百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期 (累計)	48,000 (4.4%)	2,900 (5.0%)	2,900 (3.5%)	2,000 (6.6%)
通期	97,000 (3.9%)	6,000 (13.3%)	6,100 (10.2%)	4,000 (29.0%)

1株当たり当期純利益(見通し) : 第2四半期(累計)67円08銭 通期134円16銭

株式会社JSP

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ Tel 03-6212-6306 IR室
